



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 5974 URL <http://www.cck-chugoku.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 野村 實也  
 問合せ先責任者（役職名）経営管理部長（氏名） 小田 和守 TEL (0823) 72-1322  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,780	△9.3	△174	—	△168	—	△194	—
25年3月期第2四半期	5,272	4.4	△149	—	△139	—	△163	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △164百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	△57	54	—	—
25年3月期第2四半期	△48	22	—	—

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
26年3月期第2四半期	9,005		3,192		32.6		867	69
25年3月期	9,692		3,360		32.1		917	97

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,939百万円 25年3月期 3,110百万円

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00	—
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成26年3月期末配当につきましては未定としております。

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期(予想)の配当金予想は、当該株式併合の影響を考慮しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,500	99.4	70	—	70	—	70	—	20	66

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期通期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮しております。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	3,420,000株	25年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	31,816株	25年3月期	31,773株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	3,388,226株	25年3月期2Q	3,388,518株

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は継続中であります。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期の配当及び通期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮して算出した予想値であります。

なお、株式併合の詳細につきましては、平成25年5月27日に開示いたしました「単元株式数の変更、株式併合および発行可能株式総数の変更ならびに定款一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報に基づいたものであり、実際の業績につきましては今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件等については、〔添付資料〕3ページ〔当四半期の連結業績等に関する定性的情報〕(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果の期待感から景気回復の動きが見られた一方で、来年春の消費税増税、新興国経済の成長鈍化、欧州経済の低迷等により実体経済は、確実な回復までには至っておらず、全体としては先行き不透明な状況の中で推移しました。

一方、当社グループを取り巻く事業分野も再生可能エネルギーなどエネルギー供給源の多様化等事業環境に変化がありますものの、国内設備投資は昨年引き続き低調に推移しました。

このような経済情勢のなか、当社グループは積極的な営業活動に取り組みましたが、売上高は、運送事業が前年同期を上回りましたものの、高圧機器事業、鉄構輸送機事業及び施設機器事業が設備投資抑制などにより前年同期を下回りました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は 47 億 80 百万円（前年同期比 4 億 92 百万円の減収）となり、競争激化に伴う利益率の低下等により営業損失は 1 億 74 百万円（前年同期比 24 百万円の赤字拡大）、経常損失は 1 億 68 百万円（前年同期比 29 百万円の赤字拡大）、四半期純損失は 1 億 94 百万円（前年同期比 31 百万円の赤字拡大）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

高圧機器事業は、小型 LP ガス容器及び一般高圧ガス容器の販売数量は増加しましたが、設備投資抑制などにより充填所等の LP ガス関連設備工事が減少した結果、事業全体の売上高は 25 億 37 百万円となり、前年同期を 2 億 37 百万円(8.6%)下回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、競争激化により利益率が低下したものの、販売数量の増加、総コストの削減及び生産効率の改善等に取り組みました結果、前年同期を 7 百万円(28.9%)上回る 31 百万円となりました。

鉄構輸送機事業は、コンベヤ設備を主体とした搬送機器の受注が減少した結果、事業全体の売上高は 3 億 55 百万円となり、前年同期を 69 百万円(16.5%)下回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、売上高の減少及び利益率の低下により前年同期を 35 百万円(86.3%)下回る 5 百万円となりました。

施設機器事業は、畜産分野の主力製品である飼料タンクに加え、畜産関連の設備機器及び環境分野の関連製品の受注が減少した結果、事業全体の売上高は 4 億 51 百万円となり、前年同期を 2 億 15 百万円(32.3%)下回りました。また、セグメント損失（営業損失）は売上高の減少により、32 百万円と前年同期と比べ 23 百万円の赤字拡大となりました。

運送事業は、国内貨物輸送量が低水準で推移するなかで、顧客ニーズに積極的に対応した結果、事業全体の売上高は 14 億 37 百万円となり、前年同期を 30 百万円(2.2%)上回りました。また、セグメント損益（営業損益）は、コスト削減や事業効率の向上に努めました結果、前年同期 11 百万円の赤字から 20 百万円の黒字となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 6 億 86 百万円(7.1%)減少し、90 億 5 百万円となりました。

資産は、たな卸資産が 90 百万円増加しましたものの、受取手形及び売掛金が 6 億 46 百万円、投資有価証券が 36 百万円それぞれ減少しました。

負債は、当期から電子記録債権（でんさい）を導入したことにより電子記録債務が 3 億 12 百万円新たに発生しましたものの、支払手形及び買掛金が 5 億円、借入金が 1 億 86 百万円、退職給付引当金が 1 億 3 百万円それぞれ減少した結果、負債合計は 5 億 19 百万円(8.2%)減少し、58 億 12 百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が 1 億 94 百万円減少した結果、純資産合計は 1 億 67 百万円(5.0%)減少し、31 億 92 百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く国内関連業界は、景気回復の期待感はありますものの、急激な変化はなく推移するものと予測されます。この様な状況のなか、当社グループは収益の確保に向け売上の拡大及び、あらゆるコストの削減に努めてまいる所存であります。

通期の業績予想につきましては、平成 25 年 11 月 5 日に発表のとおりであります。今後、当社グループを取り巻く国内関連業界の情勢の変化により、見直しが必要と判断した場合には、通期の業績予想を速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	835,062	850,985
受取手形及び売掛金	3,183,162	2,536,549
製品	178,206	240,388
仕掛品	513,688	556,944
原材料及び貯蔵品	262,900	248,092
その他	156,277	100,836
貸倒引当金	△1,735	△1,378
流動資産合計	5,127,563	4,532,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	582,663	564,372
機械装置及び運搬具（純額）	341,695	326,816
土地	2,249,266	2,249,266
リース資産（純額）	129,637	110,556
建設仮勘定	237	3,650
その他（純額）	19,622	21,375
有形固定資産合計	3,323,124	3,276,038
無形固定資産	36,713	35,967
投資その他の資産		
投資有価証券	1,075,703	1,039,299
建設協力金	25,740	22,800
その他	159,184	155,937
貸倒引当金	△55,994	△56,931
投資その他の資産合計	1,204,634	1,161,104
固定資産合計	4,564,472	4,473,110
資産合計	9,692,035	9,005,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,671,096	1,170,186
電子記録債務	—	312,679
短期借入金	2,373,729	2,107,999
リース債務	43,006	39,349
未払金	161,577	87,125
未払費用	81,819	87,957
未払法人税等	24,504	17,958
未払消費税等	35,378	9,604
前受金	107,770	188,931
賞与引当金	84,529	88,327
役員賞与引当金	10,000	5,000
その他	53,281	44,038
流動負債合計	4,646,694	4,159,156
固定負債		
長期借入金	221,769	300,752
リース債務	150,716	132,791
退職給付引当金	1,088,538	985,507
役員退職慰労引当金	75,684	75,684
その他	148,513	158,868
固定負債合計	1,685,221	1,653,604
負債合計	6,331,915	5,812,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	974,094	779,131
自己株式	△80,477	△80,515
株主資本合計	2,932,963	2,737,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,315	201,918
その他の包括利益累計額合計	177,315	201,918
少数株主持分	249,841	252,884
純資産合計	3,360,120	3,192,766
負債純資産合計	9,692,035	9,005,527

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	5,272,821	4,780,762
売上原価	4,429,707	3,972,343
売上総利益	843,114	808,418
販売費及び一般管理費	992,464	982,624
営業損失(△)	△149,350	△174,206
営業外収益		
受取利息	670	600
受取配当金	11,911	12,275
助成金収入	4,867	1,289
その他	15,243	10,938
営業外収益合計	32,693	25,102
営業外費用		
支払利息	13,501	13,133
出向者人件費	3,135	2,340
その他	5,725	3,769
営業外費用合計	22,362	19,243
経常損失(△)	△139,019	△168,347
特別利益		
固定資産売却益	1,467	999
特別利益合計	1,467	999
特別損失		
固定資産除売却損	2,580	252
投資有価証券評価損	15,567	—
ゴルフ会員権評価損	2,600	3,800
減損損失	1,398	—
特別損失合計	22,146	4,052
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,699	△171,399
法人税、住民税及び事業税	12,656	15,533
法人税等調整額	△3,898	1,748
法人税等合計	8,757	17,281
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△168,456	△188,681
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,080	6,281
四半期純損失(△)	△163,376	△194,962



## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△168,456	△188,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,394	23,981
繰延ヘッジ損益	△1,094	—
その他の包括利益合計	△84,489	23,981
四半期包括利益	△252,946	△164,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237,553	△170,358
少数株主に係る四半期包括利益	△15,393	5,659

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,774,357	425,082	666,828	1,406,553	5,272,821	—	5,272,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,698	—	—	208,661	218,360	△218,360	—
計	2,784,055	425,082	666,828	1,615,215	5,491,181	△218,360	5,272,821
セグメント利益又は損失(△)	24,423	41,333	△9,715	△11,121	44,920	△194,271	△149,350

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△194,271 千円には、セグメント間取引消去 1,513 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,784 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## II 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,537,013	355,101	451,168	1,437,478	4,780,762	—	4,780,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,015	—	—	216,476	230,491	△230,491	—
計	2,551,028	355,101	451,168	1,653,955	5,011,253	△230,491	4,780,762
セグメント利益又は損失(△)	31,485	5,646	△32,919	20,614	24,825	△199,031	△174,206

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△199,031 千円には、セグメント間取引消去 157 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△199,189 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。